

豊中市告示第305号

豊中市公共下水道事業業務状況の公表

豊中市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例（昭和41年豊中市条例第46号）第8条の規定による令和元年10月1日から令和2年3月31日までの業務状況を、次のとおり地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2の規定に基づき公表します。

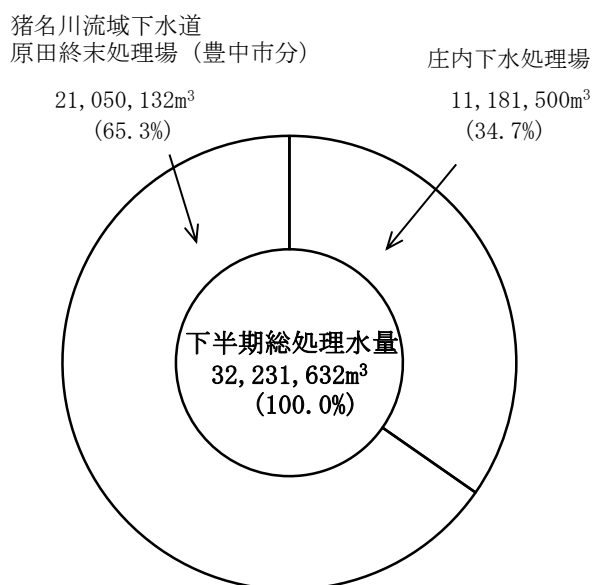
令和2年6月1日

豊中市長 長内 繁樹

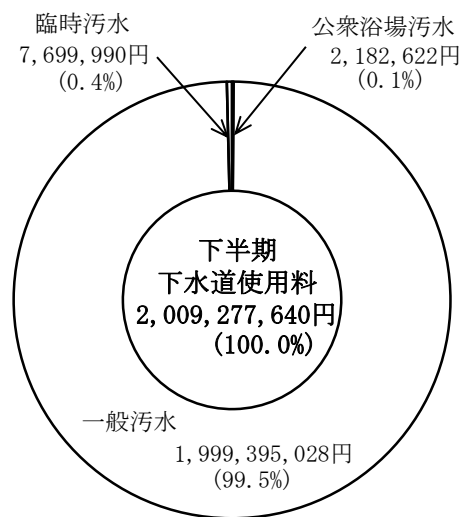
令和2年（2020年）3月31日 現在

排水人口	400,710人
処理可能区域人口	400,710人
処理可能区域戸数	177,870戸
年間総処理水量	66,426,400 m ³
一日平均処理水量	181,493 m ³

下半期総処理水量とその区分



下半期下水道使用料収入



令和元年度(2019年度)下半期予算の執行状況 (消費税及び地方消費税込み)

収益的収支

収入 7,237,595,652 円

13,998,399,193 円

予 算 費 目	下 半 期 予 算 の 執 行 状 況											累 計	
	0	5億	10億	15億	20億	25億	30億	35億	40億	45億	50億		55億
業 収	下水道使用料 2,009,277,640 円												4,015,441,606 円
	雨水処理負担金 1,386,548,732 円												2,671,631,232 円
	流域下水道原田終末処理場 受託管理負担金収入 1,149,456,188 円												2,645,170,903 円
	流域下水道終末処理場 建設受託事業収入 1,607,884,661 円												2,302,593,661 円
	空港貯留施設受託 管理負担金収入 9,980,645 円												9,980,645 円
	手数料収益 404,800 円												924,800 円
	その他営業収益 7,374,037 円												7,374,037 円
業 外 収 益	受 取 利 息 842,575 円												857,370 円
	他 会 計 補 助 金 43,280,693 円												336,637,693 円
	消 費 税 45,978,800 円												45,978,800 円
	長 期 前 受 金 戻 入 974,160,796 円												1,948,805,429 円
	雑 収 益 2,406,085 円												8,145,017 円
利 益 別	そ の 他 特 別 利 益 0 円												4,858,000 円

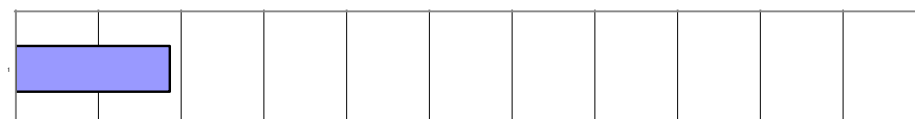
支出 8,169,119,054 円

12,908,696,633 円

予 算 費 目	下 半 期 予 算 の 執 行 状 況											累 計	
	0	5億	10億	15億	20億	25億	30億	35億	40億	45億	50億		55億
業 用 費	職 員 給 与 費 688,914,816 円												1,088,035,772 円 (うち退職給付費 134,902,312円)
	減 価 償 却 費 2,074,659,107 円												4,149,318,214 円
	そ の 他 5,173,449,170 円												7,055,517,400 円
業 外 費 用	支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費 215,646,450 円												442,593,598 円
	庄内温水プール跡地整備事業費 16,220,000 円												170,814,920 円
	雑 支 出 229,511 円												2,416,729 円

差 引 額
△ 931,523,402 円

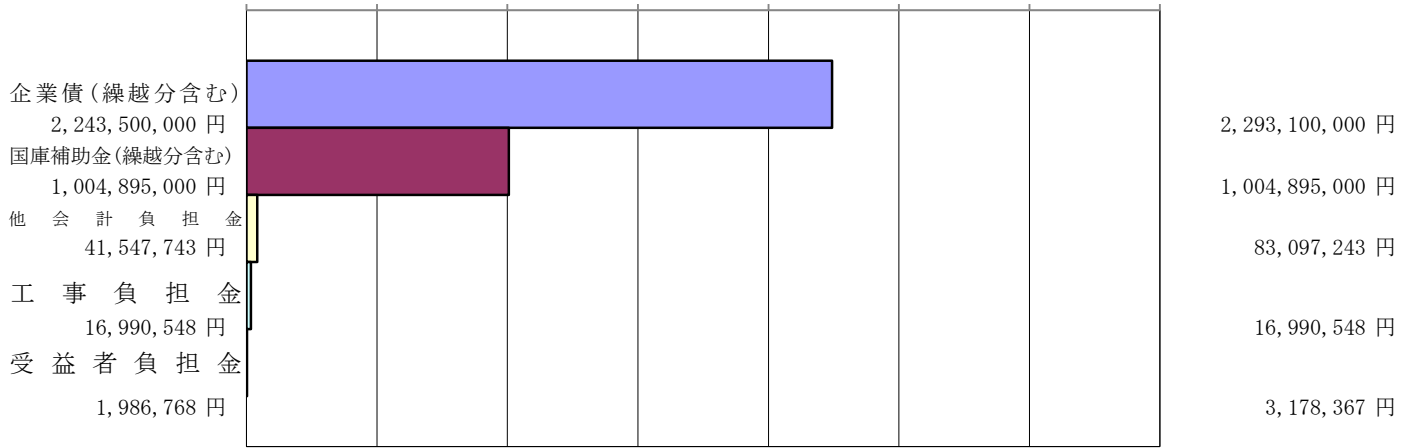
1,089,702,560 円



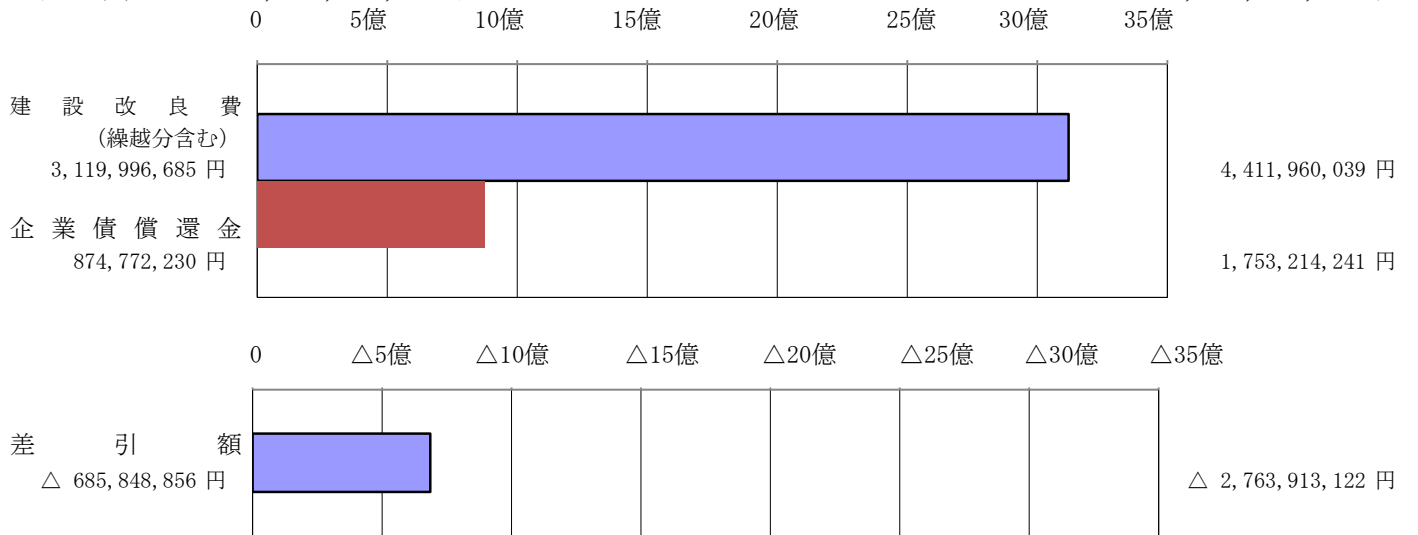
資本的収支

収入 3,308,920,059 円 3,401,261,158 円

予算費目	下半期 予算の執行状況								累計
	0	5億	10億	15億	20億	25億	30億	35億	

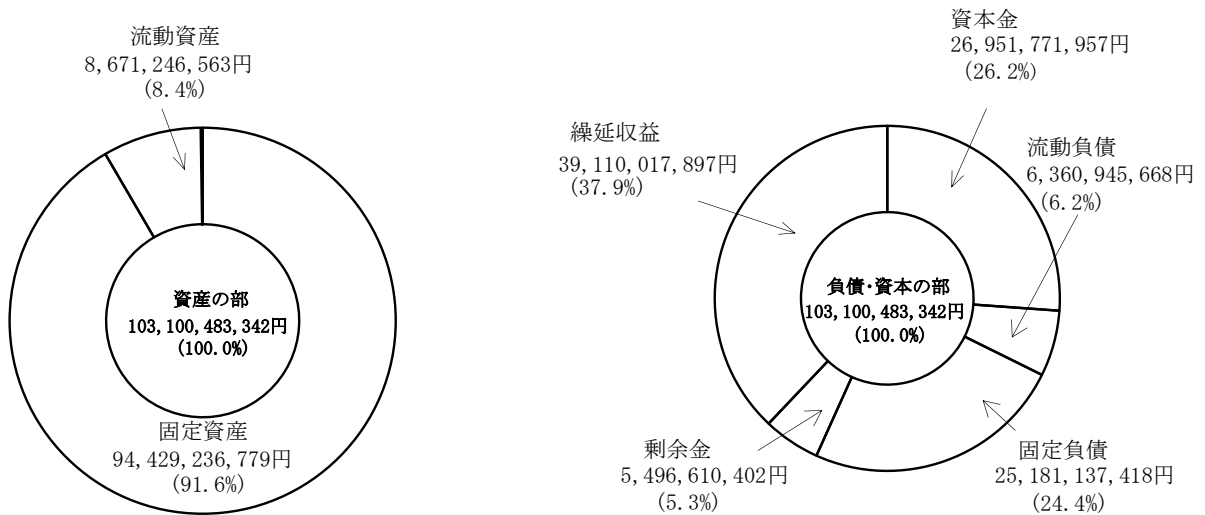


支出 3,994,768,915 円 6,165,174,280 円



貸借対照表 (消費税及び地方消費税抜き)

[令和2年(2020年)3月31日現在]



企業債現在高
一時借入金現在高

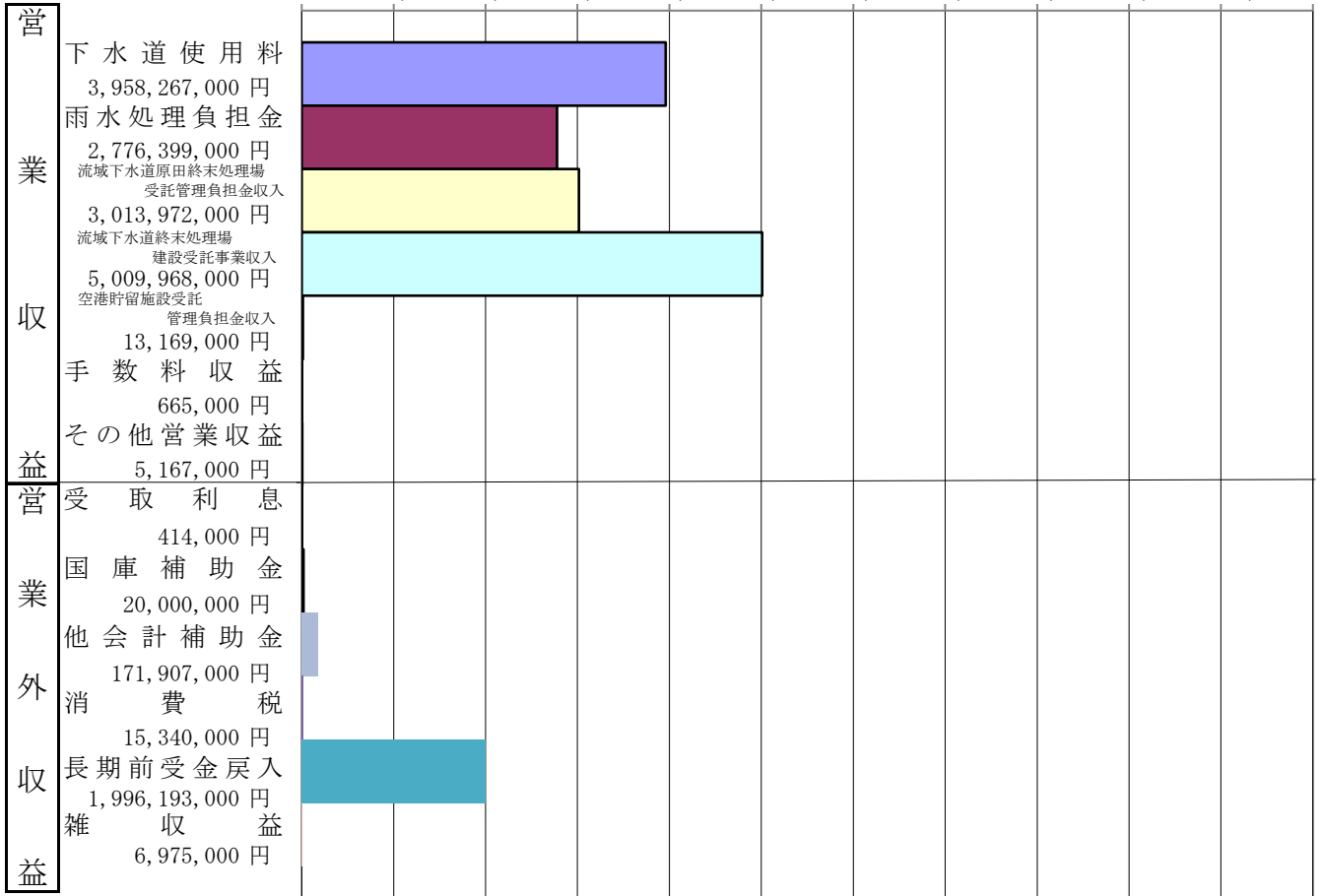
26,626,682,390 円
0 円

令和2年度(2020年度) 予算の状況 (消費税及び地方消費税込み)

収益的収支

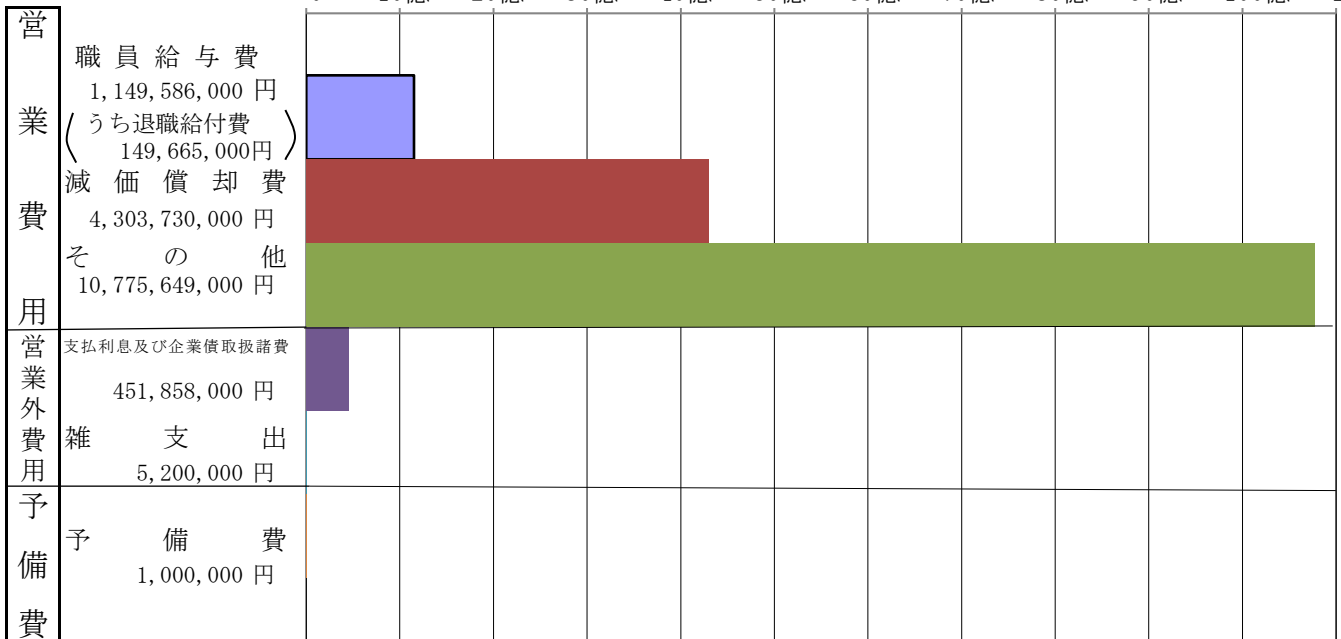
収入 16,988,436,000 円

0 10億 20億 30億 40億 50億 60億 70億 80億 90億 100億 110億



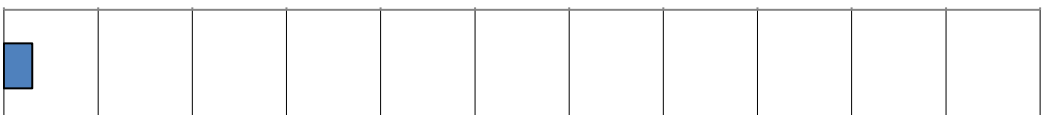
支出 16,687,023,000 円

0 10億 20億 30億 40億 50億 60億 70億 80億 90億 100億 110億



差引額 301,413,000 円

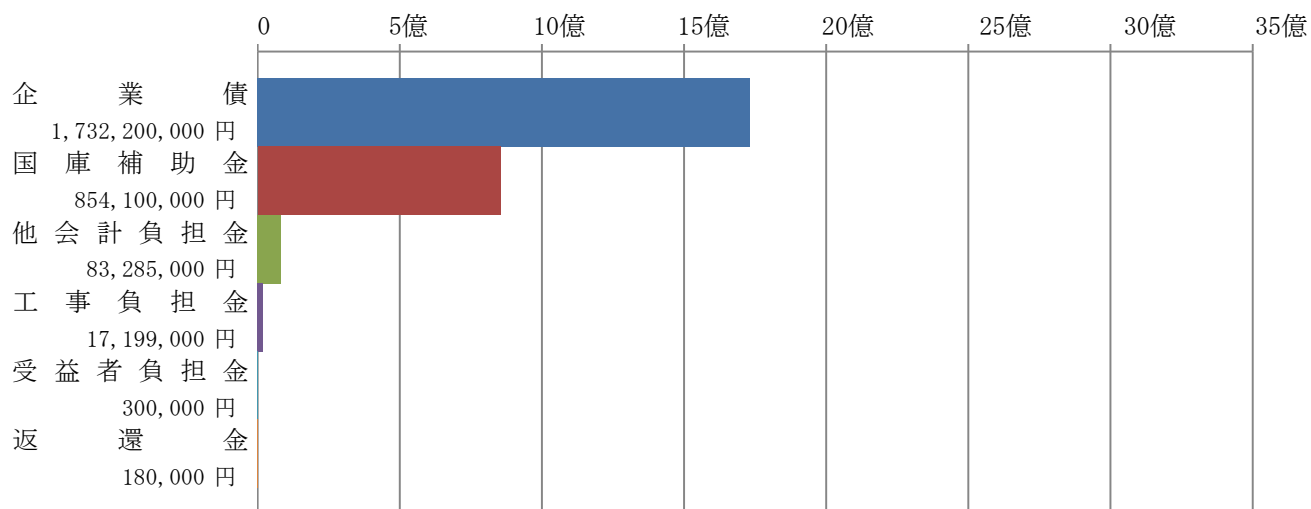
0 10億 20億 30億 40億 50億 60億 70億 80億 90億 100億 110億



資本的収支

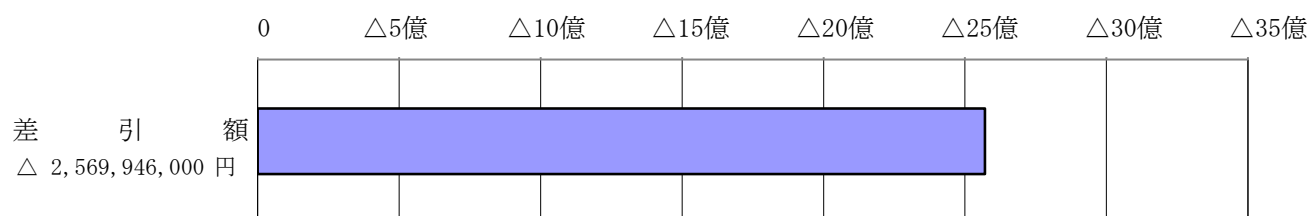
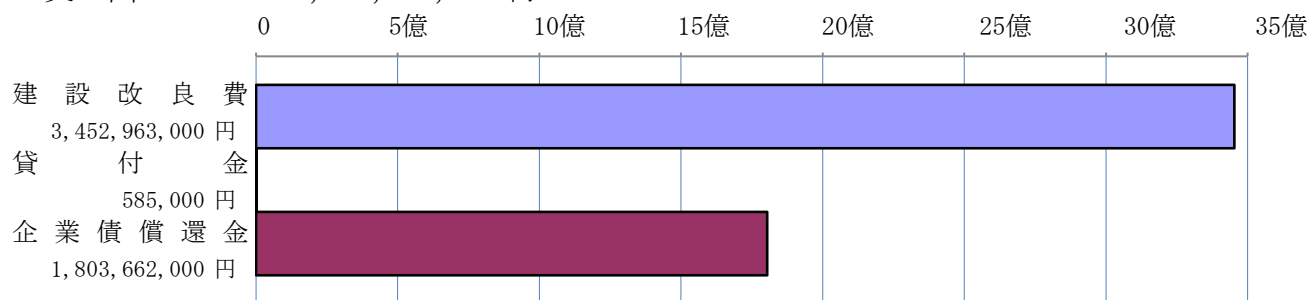
収入

2,687,264,000 円



支出

5,257,210,000 円



令和2年度（2020年度） 経営方針

上下水道局は、「第2次とよなか水未来構想」に掲げた6つのめざすべき将来像の実現を使命としています。令和2年度の予算編成においても、6つの将来像の実現に向け、上下水道施設の計画的かつ持続的な維持管理・改築更新および技術の継承に努めながら、私たちの暮らしや産業活動に欠くことのできないライフラインとしての機能確保を図ります。あわせて、効率的な事業運営や人材育成に努めながら、お客さまの視点に立った持続可能な経営基盤の確立をめざします。

〈水道事業会計〉

平成30年度決算は、純利益を確保することができ、資金剰余額は2,854,805千円でした。

令和元年度決算も、770,474千円の純利益を確保することができ、資金剰余額は、平成30年度から492,969千円増の3,347,774千円です。

収入については、対前年度比で有収水量が25,316 m³の減、給水収益は17,202千円の増となっていますが、これは消費税増税によるものであり、収益の根幹となる給水収益は引き続き厳しい状況が予想されます。

今後、施設の更新費用が必要となる中、限られた財源を計画的かつ効率的に活用し、老朽化した管路の更新、管路の耐震化など、安定給水を確保していくための事業を着実に進めます。

〈下水道事業会計〉

平成30年度決算は、純利益を確保することができ、資金剰余額は3,300,656千円でした。

令和元年度決算も、741,196千円の純利益を確保することができ、資金剰余額は、平成30年度から524,395千円増の3,825,051千円です。

収入については、対前年度比で有収水量が13,931 m³の増、下水道使用料は13,926千円の増となり、水道事業会計と同様に、消費税増税によるものであり、引き続き厳しい状況が予想されます。

今後、施設の更新費用が必要となる中、限られた財源を計画的かつ効率的に活用し、浸水対策、老朽化した管路の改築更新、処理場の耐震化など、事業を着実に進めます。

浸水対策等に多額の工事費が必要となることが予想されることから、事業を執行するうえで必要な財源である国の交付金の確保を要望していきます。